

令和 8 年 奈良市 DX 人材養成事業業務委託
一般競争入札に係る質問と回答について

令和 8 年 7 月 28 日

奈良市産業政策課

	質問内容	回答
1	【仕様書】5. 業務内容(3)イ「受講生募集・選考・管理」 未経験者を即戦力人材へ育成することや即戦力として活躍することは、難易度が高いと考えますが、即戦力人材とは、具体的にどのような基準でしょうか。	本市では、AI 活用による業務改善や AI を活用しながらシステムやインフラの構築・運用などを担う人材を即戦力人材として想定しておりますが、一律の基準は設けておりません。市内及び近隣市町村の企業ニーズを多角的に分析したうえで、企業が求める即戦力の基準を想定し、そちらに基づいたカリキュラムを提案してください。
2	【プロポーザル募集要項】6. 参加資格要件(1)カ. 本業務と同様の事業を受託し、AI に関する講座内容で履行した実績を有していること。 規模は条件に含めず、類似事業の実績を有していればよいという認識でよろしいでしょうか。 また、令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日の実績のみが対象であり、令和 5 年等の昨年度以外の実績は対象外の理解で宜しいでしょうか。	本業務と同様の事業を受託し、AI に関する講座内容 ご認識の通り、規模の指定はございません。募集要項に記載の本市又は他の官公庁（特殊法人、独立行政法人含む。）の発注において、本業務と同様の事業を受託し、AI に関する講座内容を履行した類似実績を昨年度（令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日）の期間で有していることが要件となります。そのため、昨年度以外の実績は対象外となります。